



## 今も残る原風景の駅

**美作滝尾駅文化財登録除幕式**  
2月5日 美作滝尾駅

国の登録有形文化財になったJR因美線美作滝尾駅舎に取り付けられた「登録有形文化財」のプレートの除幕式が行われました。

地元住民など約50人が出席し、同駅運営委員会や地元町内会、清泉幼稚園児たちにより除幕されました。

戦前に建築された古い木造平屋の駅舎は全国的にも珍しく、映画「男はつらいよ」のロケ地になるなど、多くの人を訪れ、親しまれています。

## 本とふれあい、世界が広がる

**第8回 図書館まつり**  
1月31日・2月1日 市立図書館

昭和53年に開館して30年。8回目となる今年の図書館まつりは、市立図書館30周年記念を兼ねて行われました。

図書館ボランティアに手伝ってもらいながらオリジナルのブックカバーを作ったり、普段は入ることのできない書庫を探検したりと、子どもたちは本に親しみました。

また、医学博士の赤枝郁郎さんによる講演会や市情報政策課の職員による市のGIS（地理情報システム）の紹介などが行われ、多くの人にぎわっていました。



## 今月のフラッシュ+

## 津山市、80回目の誕生日

**津山市制施行80周年記念式典**  
2月11日 津山文化センター

昭和4年2月11日に津山町を中心に2町4村が合併し、誕生した津山市。今年で80周年を迎えました。

友好交流都市の関係者を始め、国会議員や県内の地方自治体関係者、各種団体の招待者など、約1,000人が出席し記念式典が盛大に催され、市長が「歴史や文化、伝統を温故知新の精神で振り返り、その教訓を生かし、未来志向でさらなる飛躍を期したい」と式辞を述べました。

式典終了後には、津山少年少女合唱団による合唱や、市政アドバイザーで朝日新聞論説委員の薬師寺克行さんによる講演が行われました。

垣谷薫生さん（田町）は「今日の式典は厳粛で良かったですね。わたしは40年ほど津山から離れて暮らしていましたが、ふるさとの記念すべき日に立ち会えてうれしいです」と話してくれました。



## それぞれの持ち味を大切に！

**ひと・ふれあい講演会**  
1月24日 勝北公民館

今年度4回目となる「ひと・ふれあい講演会」が落語家の林家花丸さんを講師に開催されました。

花丸さんは人間社会をおでんに例えて「人間の個性はおでんの具のようなもので、社会という大きな鍋の中でそれぞれが役立つ持ち場がある。そのため、お互いの個性を認め合い気配りすることで信頼関係が生まれ、過ごしやすい環境づくりができる」と語りました。

約200人の聴衆は、花丸さんの笑いを交えた分かりやすい話に聞き入っていました。



## 腕自慢、力自慢、大集合！

**三国力自慢腕相撲大会 美作大会**  
1月25日 ソシオ一番街

小学生から大人まで38人が各部門に参加し、ラビリント広場で腕相撲大会が開催されました。

小学生の部では男の子と女の子が同じ土俵で競うこともあって、見物客の応援に力が入っていました。

各部門のベスト4以上は、備中大会・備前大会の代表と2月22日の三国決勝大会に出場し、美作地区の代表として活躍しました。

